

岡山県シルバーおかやま

会 報



「源平放水合戦」 提供：公益社団法人 備前市シルバー人材センター

目 次

| | |
|-----------------------------|-------|
| ◆ 連合会会長 新年の挨拶 | 2 |
| ◆ 県内シルバー人材センター理事長(会長)の新年の抱負 | 3~12 |
| ◆ 普及啓発活動 | 13 |
| ◆ 会員拡大の取り組み | 14~15 |
| ◆ 連合会の会議等 | 16 |



「安全は 無理せず 焦らず 油断せず」

令和5年から令和7年までの全国統一安全就業スローガン

公益社団法人 岡山県シルバー人材センター連合会



新年の挨拶

公益社団法人 岡山県シルバー人材センター連合会
(公益財団法人 岡山市シルバー人材センター)

会 長 信 木 修



新年あけましておめでとうございます。

各センターの皆様方には、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃からシルバー事業の推進にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

三年ぶりに行動制限のないお正月を迎え、久々に帰省されたご家族やご友人とお祝いをされた方も多かったのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年からインフルエンザと同じ五類の感染症に移行し、国内の経済や社会もコロナ前に戻す動きが一気に加速しているように思われます。シルバー人材センターの活動につきましても、これからの動きを見据えながら、地域の要望にしっかりと応えられるセンターを目指して参りたいと考えています。

さて、今年の干支は「辰(たつ)」です。十二支で唯一架空の動物である辰(竜)が干支に選ばれたのは、古代中国では竜が実在すると信じられ、人々にとって身近な存在だったからといわれています。竜の鳴き声は雷や嵐を呼ぶことから、天候など自然を支配する巨大な力を持つとされ、辰年は時代を動かす「変革」や「激動」の年になるといわれてきました。

シルバー人材センターでは、全国的にコロナ禍の影響により会員数の減少が続いていますが、会員数の確保は、知識や技術を継承し、地域の要望にしっかりと応えていくためにも、緊急かつ最大の課題です。センターを取り巻く環境は「インボイス制度」の導入や今年秋施行予定の「フリーランス新法」への対応、来年には公益法人制度の見直しも予定されており、これからも厳しい状況が続くものと思われます。一方、女性会員数の増加に伴い、福祉や教育分野での活動の割合が増えるなど明るい兆しも見えており、今年は干支にちなみ、新しいステージに向けての「変革・激動」の年にしたいと考えています。

これらの制度の導入や変更による会員の皆様への影響が最小限のものとなるよう、あらゆる施策を講じて参りますので、会員の皆様には引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と益々のご活躍を祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

公益社団法人

倉敷市シルバー人材センター



理事長

内海 彰也

当センターは、昨年設立四十周年を迎え、次の段階へのステップアップを目指して歩みを進めています。

しかし、会員数は、平成十七年度の二千二百五人をピークに、減少傾向が続き、現在千四百人台で推移しており、会員拡大は当センターの最大の課題となっています。この状況を食い止めるため、センターが生きがいづくりの場として、これまで以上に会員になってよかったと思えるよう、本年は新たに、会員向け講座「暮らしに役立つ法律のおはなし」顧問弁護士がkantさんにわかりやすくお話しします」を実施するなど会員に役立つ講習会を拡充するとともに、センターの魅力を紹介することなどを通じて会員が地域の皆様と交流できるイベントの開催を検討していきたいと考えています。

また、女性会員の確保を含め、幅広い層において新規登録会員を増加させるためには、就業機会の拡大は不可欠です。この度、当センターでは倉敷市の一時多量ごみ制度における「片付け作業」を新たに実施することになりました。社会問題となっている空き家対策とも関連し、

センターが地域の課題解決を担う上でも今後就業における重要な分野になっていくものと考えています。

一方で、より生産性の高い組織を実現していくためには、センターのデジタル化は急務です。会員への連絡手段としてSMSの積極的な利用に加え、広報、安全就業等の効果的な推進のためSNSの活用などを進めていきたいと思っています。

センターにとっては、大変厳しい時代ではありますが、これを変革のチャンスととらえ、営業力の強化や業務体制の見直しなどにより経営体質の改善を図りながら、新たな施策にも積極的に取り組んでいく一年にしたいと思っています。

公益社団法人

津山市シルバー人材センター



理事長

大塚 賢一

岡山県のシルバー人材センター関係者の皆様、新年明けましておめでとうございます。県内各センターの会員・役職員の皆様方には清々しい新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年五月までの約三年間は、新型コロナウイルス感染症のなか、体調管理に何かと苦慮されたこととお察し致します。現在では、伝染病法上五類扱いになったものの完全に消滅したわけではありません。インフルエンザと共に当分の間続くと思われますので、皆様方には健康管理にお気を付けられまして、昨年にも増してお元気で活躍されますことを願っております。

最近シルバー人材センターを取りまく状況も年々厳しくなっていますが、関係各位からの益々のご支援・ご協力・ご鞭撻をお願い致します。また、ご活躍して頂こうえでは安全第一に就業頂くことにより、自らを守りこのことは地域社会に対しても好印象を与えることにもつながると思います。

シルバー人材センターの目的としての、自主・自立・共同・共助を今以上にご理解頂きながら、接遇を大切にしながらご活躍頂くことで、シルバー人材センターにお願いして良かった、会員で良かった、会員になりたいと思ってもらえる様なシルバー人材センターを皆さんと一緒に目指したいと思っています。

どうか、皆様方が生涯現役で活躍されますと共に、今後のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。まして、新年のご挨拶とさせていただきます。



シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

公益社団法人

玉野市シルバー人材センター



理事長

市倉 勇樹

玉野市シルバー人材センターは会員数約二百二十名程度を維持しながら、運営にあたっては「自主・自立、共働・共助」の共通理念のもと、会員の方々が安全に安心して働いていただける環境に配慮しつつ、地域の信頼と期待に応えるセンターとして役割を果たすべく、各種事業の推進に取り組んでおります。長きに渡ったコロナウィルス感染の暗いトンネルをようやく抜けたものの、国を取り巻く社会経済情勢は新たな局面へと移り変わりを見せており、特に国際紛争や円安為替相場等を背景とする物価上昇は日々の生活に大きな影響を与えております。

また慢性的な少子化に加え、団塊の世代と呼ばれる方々全員が七十五歳以上となる所謂二〇二五年問題に起因する働き手・人材の不足は、社会経済活動の維持に大きな課題を突きつけております。

そうした課題解決の一助となるべく、私も役職員一同、地域づくりに貢献する公益法人として、高齢者の社会参加による労働人材の確保と、高齢者自らの健康増進、生きがい

の充実に向け、積極的な会員組織の拡大と社会変化にも応じた就労事業の充実に取り組んでまいりたいと存じます。

今年の干支は五番目の辰年で、目標に向かって努力を積み重ね成功を収めるべき年、また新たなことに挑戦すべき年とも言われ、龍の如く天高く舞い上がる良い年になればと期待をしております。

結びに各地域のシルバー人材センターの益々の発展と、関係者のご健勝とご活躍を祈念し、新年のご挨拶といたします。



公益社団法人

笠岡市シルバー人材センター



理事長

山田 雄治

一年を振り返ってみますと「晴れの国おかやま」の名のとおり、雨の少ない年ではありましたが、昨年の夏は、言葉では言い表すことの出来ない厳しい暑さで、高齢者である

シルバー会員にとってはかなりの試練でありました。ですが、厳しい暑さの中であつても、草刈機を担ぎ現場へ向かって作業を行い、脚立にのぼり剪定を行いと過酷な環境でも熱中症になることなく作業を行う姿は、勇敢なものでした。暑さは年々増してきており、会員の皆様が安心して仕事が行えるよう、より一層の安全対策を行う必要があります。

また二〇二〇年から一昨年までは、世の全体がコロナ感染に怯え息苦しい生活を強いられておりましたが、昨年ごろより、「コロナに負けない！」という強い思いで、コロナと上手に付き合うことが出来るようになり、生活面、体調面ともに以前の生活に戻りつつあります。コロナ禍の期間は、一時急激に仕事の減少はありましたが、イベント・お祭りと人が外に出ることが増え、シルバーへの仕事の依頼も少しずつではありますが戻ってきております。働ける喜びで会員にも活気が出てきております。とはいえ、当センターの大きな課題である会員数の減少は深刻な問題で、在籍会員の高齢化で草刈・剪定のような終日外で行う作業が出来る会員が毎年減少しております。

近年、高齢者世帯・独居高齢者が増えたことで家事援助・総合事業での依頼も増えてきております。そのため新聞折込、広告等のこれまでの会員募集に加えて地道に会員、職員が声掛けを行い、今年度はより一層会員増加に向けて努める必要があります。

シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

今年「辰年」であり、大きな出来事や変化の多い年で【動乱の年】と言われております。世界を混乱させる出来事も多くありましたが、古くは一九六四年に東京オリンピック開催、一九八八年には東京ドーム竣工・地元岡山県では瀬戸大橋開業と大規模プロジェクトが始まっております。当センターとしての新しいプロジェクトに取り組んで会員増加、センター事業の向上につなげていきたいと思っております。

公益社団法人 井原市シルバー人材センター



理事長
森 中 秀雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染縮小により、昨年五月から感染症法上の位置付けが第五類に変更になり、社会経済活動が戻りつつある中で、当センターの十一月末までの受託、派遣の事業実績は、前年同期と比較し、受注件数は百七十九件の減となりましたが、会員数は九名の増、契約金額は、二百三十万円余の増で推移しています。

これも偏に会員皆様のご尽力と井原市をはじめ関係各位の深いご理解と、ご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

国の施策により七〇歳までの就業機会確保の努力義務が設けられ、六〇歳代の会員確保が大変厳しい状況となっております。

七〇歳以上の会員及び女性会員の加入に力を入れ、年齢に応じた新たな就業機会の開拓を図るなど、多くの会員に加入、活躍して頂けるよう努めてまいりたいと思います。

「人生一〇〇年時代」の高齢期は、「働く」「休む」「学ぶ」「遊ぶ」の四つを上手に組み合わせる事が大切であり、この考え方を現実できるのがシルバー人材センターであると考えます。

今後とも社会の変化に柔軟に対応し、豊かで積極的な高齢期の生活と、社会参加による生きがいの充実のため、会員、役職員が一体となり、地域社会から信頼され、地域社会に貢献するセンターを目指して邁進する所存です。皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



公益社団法人 総社市シルバー人材センター



理事長
岡 眞司

明けましておめでとうございます。皆様には新年を迎え、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年、当センターは「生涯現役社会」の現に向け①会員の拡大及び事業の広報・普及・啓発活動の強化 ②安心・安全・適正就業の推進 ③関係各種団体・県内外のシルバー人材センターとの連携強化を重点にしっかりとした体制作りに取り組みで参りました。今年度も引き続き、豊かな経験と知識を持つ高齢者が働く環境を整備し活躍できる体制作りに取り組み①請負事業 ②人材派遣事業 ③自主事業の三本柱で企業や社会における新たな就業機会の創出と確保に一層努めて参ります。また昨年、新たに開始したサロン活動(クラフトルーム・歌声サロン等)や「健康マージャン」など会員相互の親睦や高齢者の生きがいの創出などの取り組みをさらに深耕したいと考えています。

つきましては、今年度も益々のご支援ご協力をお願い申し上げます。

シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

公益社団法人

新見市シルバー人材センター



理事長

上原 博史

我が国は、長引くコロナ禍により、雇用情勢をはじめ社会経済活動は大きな打撃を受け、シルバー人材センターの事業においても契約額の落ち込みとともに、会員数の減少傾向が続いておりました。

しかし、昨年五月に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが五類に変更となつて以降、コロナ禍前の日常が徐々にではありますが戻ってきているように感じます。

当センターにおいても、会員数、契約金額ともにやや増加の傾向が見られますが、コロナ以前の状態に戻るまでには時間がかかると考えられます。

シルバー人材センターの活力度の指標は何と言つても会員数であり、安定した事業運営にはその拡充が必要不可欠です。

会員の確保については、昨年策定された岡山県シルバー人材センター連合事業第三次中期活動計画で示された当センターの目標会員数を念頭に、他センターの好事例を参考にするなど、新しいアイデアを駆使して新規加入の促進を図るとともに、退会抑制に努めていきたいと考え

ております。

また、新入会員が少なく、会員の高齢化が年々進む中、作業の安全確保が益々求められることから、受注段階での選択や、会員の安全意識向上対策など、安全就業に向けた取り組みを一層強化していかなければならないと考えております。

さらに、インボイス制度への対応を的確に行う中で、本年秋頃から始まる新たな契約方法への移行を視野に入れながら、事務事業のデジタル化への取り組みを進めていく必要があります。今年は、シルバー事業の大きな転換期となりそうですが、市民に信頼されるシルバー人材センターを目指して、皆様のご支援とご協力を得ながら、事業の一層の発展に努めて参りたいと考えております。

公益社団法人

備前市シルバー人材センター



理事長

寺崎 守

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、令和六年の新春をご家族お揃いでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症も第五類に移行され収束への兆しも見え、景気回復も期待されましたが、戦争の継続など世界情勢は依然緊迫し、地球温暖化による自然災害等々で物価は高騰し、国や土地を追われた難民が多く生まれた悲しい年でした。出口の見えない状況に、我が国もその影響を免れるべくもなく、渦中へ深く巻き込まれるのではと不安を覚えています。

我々シルバー人材センターを取り巻く環境も、国が進める働き方改革等による定年制度の延長やコロナ禍の影響による会員の減少、インボイス制度実施による税負担の増や本年十月からのフリーランス新法の施行による契約方法の見直しなど、これからも厳しい状況が続くものと思われれます。

今年の干支は「辰」です。十二支の中で最も縁起の良い干支と言われております。様々な願いを叶えてくれるだけでなく、あらゆる物事を良い方向に導いてくれる力があると言われていますので、多くの課題を抱え停滞傾向にあるシルバー事業について「変革」の年としなければならぬと考えています。

人生百年時代を迎え高齢化率世界一の日本にあつては、「自主・自立・共働・共助」の基本理念のもと、高齢者が、福祉の受け手ではなく社会の担い手の一員として働き、社会に貢献していただくように願っており、その実現に向け会員の拡大が喫緊の課題であると認識しており、今年度の最重点施策として取

シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

り組んで行く所存であります。
最後になりましたが、皆様方のご健勝と益々のご活躍を祈念申し上げまして、新年の抱負とさせていただきます。



公益社団法人

瀬戸内市シルバー人材センター



理事長

山口 香子

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方には謹んで初春のお慶びを申し上げます。

日頃より市を始め関係機関・地域の皆様には当センターへのご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。シルバー人材センターといたしましては、少子高齢化が進むなか高齢者が就業を通して健康維持や地域に密接した社会貢献を目指しております。

また、センターが担う役割として、地域に期待される組織となるために努力を重ねております。しかしながら、当センターでも会員

が減少傾向にあり会員の拡充が大きな課題となっておりま。こうした課題解決においても地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、コロナウイルス・インフルエンザの感染も心配されております。各自ができる感染予防をされまして穏やかな一年でありますことを念じ、併せて皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人

赤磐市シルバー人材センター



理事長

角南 仁志

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私達赤磐市シルバー人材センターは、会員一同「市民の皆様の期待に応えうるセンター」を目指して、日々頑張っています。

現在、赤磐市の人口は約四万三千人で高齢化率は三十三・八%となっています。高齢化率の上昇によって、センターに対する要望は年々増加傾向にあります。このような状況の中、当セン

ターは会員約三百六十名で市民の皆様からのご要望に対応しています。

当センターは、会員の皆様が「シルバー人材センターに加入して良かった」と思ってもらえるセンターを目標にしています。そのためには、安全を最優先に「安全就業の確立」と「新規会員の拡大」に役職員英知を結集して全力で取り組んでいます。安全就業の第一歩は「時間に余裕、心にゆとり」を持って行動する心がけが重要と考えます。また、会員の高齢化と減少を補う立場から、効率的で安全な作業を創造し、順次省人化対策（機械化）と、作業の見直し等を進めています。

本年は辰年です。希望に満ちた飛躍の年にしたいと考えています。そのためには、シルバー人材センターに関係する全ての人々がそれぞれのポストでベストを尽くすことが重要だと思います。そのことが結果として「市民の皆様から信頼され、会員の皆様から一層信用されるシルバー人材センターに」に脱皮する道筋だと思えます。

シルバー人材センターが公益社団法人に移行し十一年が経過しました。急速に変化する社会情勢に対応し、シルバー人材センターを将来にしっかりと継承するためにも、現状に即した変革と対策が不可欠と考えています。明るい展望を創造し、頑張ります。

最後になりましたが、全ての皆様が健康で幸多き年となりますようご祈念申し上げ、新年の抱負とさせていただきます。

シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

公益社団法人

真庭市シルバー人材センター



理事長

伊井 邦雄

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年はことのほか暑い日が続き、春と秋が短く尋常でなかったように思います。

さて、当センターは現在概ね四百七十名の会員で活動し、事業実績は前年を少し上回る状況です。会員の加入促進では、会員以外の方も参加ができる講座を多数開催しました。一例として、美作大学と連携し【食育講座】を、川崎医療福祉大学と連携し【健康講座】を、行政と連携し真庭市内で利用できるデジタル地域通貨【まにこいん講座】を実施しました。さらに、高齢者等のデジタル利用促進に向けて【スマホ教室】を実施しています。併せて、女性委員や就業機会創出員を配置し、就業開拓、会員拡大を図っています。しかしながら、働き方改革や定年延長などにより六十代の入会者が少なく、会員増強が難しい状況です。

会員の親睦においては、仲間意識向上を図るため【親睦旅行】や【ゴルフ大会】を開催しました。仕事もさることながら、楽しみのあるセ

ンターと感ずるよう努めています。この取り組みがセンターの魅力を増し、会員加入につながると自負しています。これからも【住み慣れた所で安心して暮らせる地域づくり】に貢献できよう励んでいきたいと思っています。

公益社団法人

美作市シルバー人材センター



理事長

井口 貴重

美作市シルバー人材センターは、高齢社会人口減少時代において、ふるさと納税「さとふる」での空き家見守りサポート、空き家・空き地作業代金割引クーポンという新しい取り組みを昨年から始めています。まだ十分に取り組みが浸透していませんが、ことあるごとに広報活動をしていく予定です。

退会する会員が増えて、現在は二百六十名あまりの会員で市内外の依頼者に対して何とか取り組んでいます。しかし、このまま退会する会員が増え続ければ、依頼に対しての対応ができなくなります。そのため役職員による会員募集の普及啓発活動に取り組み、昨年四年ぶりに市内各地で行われたイベント「ふれあい祭り」の三つの会場に参加し、そのうち一つの会場では

ボン菓子作りなどにぎやかに宣伝をしました。また例年行っているスーパールの店頭でのチラシ配布も行い広報に努めました。今年も引き続き実施していく予定です。

また会員には、知人や友人にシルバーへの入会の勧誘を引き続きお願いしていきます。定年延長や再雇用等でシルバー会員の増加は困難が予想されますが、会員目標三百人、契約金額一億円を目指したいと考えております。

会員相互が、目配り・気配り・心配りを忘れず、事故のない明るい仕事場作りに努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人

浅口市シルバー人材センター



理事長

友田 整二

新年あけましておめでとうございます。

県下シルバー人材センター関係の皆様には、お健やかに令和六年の新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は当センターの事業運営につきまして、ご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

現在国内では、ロシアのウクライナ侵攻、中東での紛争、内外の金利差による物価上昇に

シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

よって生活に支障をきたすところであります。

我が国の高齢化率は二十九%となり、労働力不足の現在、高齢者の就業は極めて重要となっております。就業、社会参加を通じて、地域に貢献するシルバー人材センターへの役割、期待はますます大きくなっております。国の方針として、七十歳までの雇用努力義務が打ち出され、入会年齢が高くなっておりますが、本年の目標として次の事項を行ってまいります。

一、会員の増加

十二月末現在四百四十二名の会員が在籍しておりますが、作業依頼が多く断るケースが見受けられ、発注者の依頼に十分応えることができません。

増加策として、魅力あるセンターづくりを進めるために今後も様々な取組を積極的に行い、多くの皆様から楽しみや生きがいを感じられるような組織づくりに努めたいと存じます。

また、女性会員による「かぐや」の充実により女性会員の増加を図ります。

こうした取り組みを行うことで、粗入会率三%越えを達成したいと思います。

二、作業事故「0」を目指して安全ルールの徹底

十分な健康管理、無理のない作業計画、会員相互及び事務所での声掛けの徹底等を行い事故、トラブルを防いでまいります。

三、会員、職員を大事にすることは、シルバー人材センター活動の活性化に欠かすことはできません。

会員の就業、業務に日々当たることは、知人・友人の紹介に繋がるだけでなく組織の活性化にも大きな影響を与え、会員増につながると思っています。

以上三項目の実践により、会員の生きがいや健康づくりに寄与し、生涯現役を目指し、ライフスタイルに合ったいきいきとした人生を送ってもらうこと、職員が明るく、元気に働けるようにすることにより、当センターが高齢者の魅力あるランドマークになれるよう努めたいと思います。

公益社団法人

和気町シルバー人材センター



理事長

井上 勲

新年あけましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年はコロナ禍が減少傾向になったものの、

社会、経済活動に少なからず影響を及ぼした一年でした。和気町シルバー人材センターにおいても各種研修会や総会等が開催できず、意見交換、親睦の場が持てない結果となりました。

昨年十月から施行のインボイス対応では、事

務処理負担が従前より増しましたが事務局職員が対処しているところです。このような中、本年は「第三次中期活動計画」の二年目にあたり、引き続き重点目標の完遂を目指して四点の取り組みをしたいと考えています。

まず一点目は会員確保拡大についてですが、先進事例を参考にしながら、更なる事業活動を一層強化したいと思っております。二点目の就業機会の確保拡大では、就業率のアップと、さらに企業へのアプローチを行い、就業先の確保に努めたいと思っています。次に、三点目として、安全適性就業の推進については、重点課題ですので、今後も事故防止と会員の健康管理に万全を期して取り組みます。四点目は各種講習会等を従前のとおり実施し、特に本年度は会員のスマホ利用操作に馴染んでいただくための「スマホ講習会」を開催します。将来「スマホ」利用に置換することが出来れば、省力化、合理化になると考えます。会員の皆様にご理解をいただき、講習会に積極的にご参加いただくことを願っています。

和気町シルバー人材センター発展のため経営の効率化を図り、地域社会に貢献し信頼されるシルバー人材センターを目指し、役職員一体となって頑張ります。

会員皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

公益社団法人

早島町シルバー人材センター



理事長

山本 哲也

早島町は、岡山市と倉敷市に隣接する面積七・六二km²の小さな町で、交通の利便性が高いことなどから流通関連業の立地が進み、また、若い世代を中心に居住地として選ばれています。人口は一万二千六百人程度を維持し、高齢化率も他の市町村に比べて穏やかではあるものの二十七%に達しました。このようなか、行政的にはコンパクトな町の特性や流通関連企業の立地を生かしたまちづくりや待機児童対策などの子育て支援の充実に努めています。

シルバー人材センターでも、草刈り、剪定作業といった従来型の業務のほか、流通関係事業所での軽作業や一昨年から取り組んでいるシルバーママサービス（子供の一時預かり）、学童保育支援員の補助、保育園の登退園時間帯の駐車場案内といった子育て支援に因んだ業務の開拓、受注を行っています。

当センターの令和五年十二月時点の会員数は百二十九人で人口のちょうど一%、令和元年度の水準を維持してきており、会員の皆さんの声掛けや事務局職員の努力の賜物と感謝

しています。最近の傾向として、新規加入の女性会員が増え、徐々に女性比率が上がっています。そのようなこともあってか、女性会員が元気だと感じる場面が多くなっています。町内で行われるイベント（さくらまつりや生涯学習まつりなど）へも女性会員が中心となって出店したり、しばらく中断していた女性会員相互の親睦を深めるためのサロン（茶話会）を再開したりと、そのアイデアと行動力には感服しきりです。

令和六年は、このような元気な女性陣のパワーをシルバー人材センター全体の活力に繋げ、会員相互のコミュニケーションと会員満足度の向上へ、そして、会員の増強へと好循環を生み出していきたいものです。

はてさて、男性陣の会員諸氏、負けてはいられませんぞ。



公益社団法人

里庄町シルバー人材センター



理事長

妹尾 睦夫

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととところよりお慶び申し上げます。

昨年十月に消費税に関する「インボイス制度」の運用が開始されました。運用にあたりこの制度に対する正しい知識を身に着け、今後情報収集を続け、専門家の知恵などを活用し、適切に対応したいと考えています。

一方、企業等に属さないフリーランスが安定的に働ける環境をつくるため、令和五年四月にフリーランス保護法が制定され、さらに今年の秋頃までに施行が予定されています。このフリーランスに会員の多くが該当することから、当センターとしても契約方法などの見直しに対応しシルバー事業が円滑に運用できる事務体制の構築に努めてまいりたいと考えております。

また、デジタル社会の到来を踏まえ、シルバー事業においてもデジタル技術を取り入れて「センターの経営基盤の強化に向けた効率的な業務運営を図る」とともに「会員の利便

シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

性の向上」に努めて参りたいと考えています。

近年、高齢者のより一層の活躍が期待されている中で、シルバー人材センターは、「人生百年時代」の対策として、健康寿命（健康で日常生活を支障なく送ることが出来る期間）を延ばしつつ、高齢者の「居場所」づくりと「生きがい」のある社会参加を目指し、さらに、健康に働く高齢者を増やすことが、「会員の確保」や「シルバー事業の拡大」に、また地域社会の活性化に貢献できるものと考えています。

健康寿命の延伸の意義は、

- ・生活習慣病を予防して健康寿命をのばそう
- ・生活機能向上で健康寿命をのばそう
- ・運動習慣で健康寿命をのばそう

今年の干支は「辰」です。「辰」は十二支の中で唯一の架空の生き物で「龍」を意味します。水や海の神様として祀られてきた龍、竜巻や雷など自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものです。すなわち、「龍が現れるとめでたいことが起きる」と伝えられてきました。このご縁を授かり、シルバー事業において山積みされた多くの課題に積極的な取り組みを期待したいものです。そして、今年もセンターの組織運営については、柔軟な発想により意識改革を進めてまいります。

結びに、シルバー人材センターのますますのご発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

高梁市シルバー人材センター



会長

森田 伸一

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。旧年中は、各分野でのご就業にご精励いただくとともに、高梁市シルバーセンター事業にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、全国的にも少子高齢化が進行し、地域の労働力が減少する中で成長力を確保するためには、働く意欲のある高齢者の皆様が活躍できる「生涯現役社会」を実現することが益々重要となっています。このような中、私たち高梁市シルバー人材センターは、多くのシニア世代の皆様が輝き続け、経験と知識を共有し、新たな挑戦に取り組む場所でありたいと願っています。そして、そのために私たちは、会員の皆様のライフスタイルやスキルに合わせたサポートを提供してまいります。

令和六年の干支は「甲・辰^{きのえ}」です。この干支には「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさを表していると言われています。

この良き年にあたって、私たち高梁市シルバー人材センターは、「共感と協力」をキーワードとして進んでまいります。シルバー人材センターは、会員の皆様がお互いに支え合い、共に成長できる場所であるべきだと考えています。私たちは一層の協力を奨励し、会員の皆様が共感をもってコミュニケーションを取り、共に学び、共に進化することを促進してまいります。会員の皆様の経験と知識は、宝のようなものであり、それを分かち合うことで、私たちはより強くなり、より幸福なコミュニティを築けると考えています。

結びに、会員の皆様が健康で安全にご活躍されることをご祈念申し上げます。

新しい年もよろしく申し上げます。



シルバー人材センター理事長(会長) 新年の抱負

矢掛町シルバー人材センター



会長

山岡 敦

新年明けましておめでとうございます。県内シルバー人材センター関係者の皆様におかれましては、お健やかな令和六年の初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素は、当矢掛町シルバー人材センターの運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が五類化され、街中では数年振りかのイベントも開催され活気を取戻しつつある中、シルバー会員の皆様も平穩無事な一年を過ごされたことと存じます。

さて、我が国は高齢化社会に入り久しいですが、近年は人口減少過程に突入しており、地方ではそれが顕著に表れております。これに拍車をかけて、高齢者雇用安定法の改正により、事業主に六十五歳までの雇用確保が義務化され、七十歳までの雇用確保の措置を講じることが努力義務とされ、シルバー会員の確保・拡大が非常に厳しい状況になっていきます。これには何よりもまず、働く意欲のある高齢者の多様なニーズに合った就業機会を提供し、その社会参加を促進するための魅力

あるセンター作りを行わなければなりません。矢掛町シルバー人材センターは、「人は力」を念頭に、魅力ある場を提供できるようさらなる啓発活動を充実させ、親しまれるセンターとして地域に根差して参ります。結びにあたり、県内シルバー人材センターの益々のご発展と皆様のご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



美咲町シルバー人材センター



会長

岡田 寿

新年明けましておめでとうございます。

会員数六十人前後のシルバー美咲です。日常では健康・安全をモットーに、時に慰労会などで相互交流し仲間づくり今年も励みます。

会員は減少傾向で頼まれ仕事の消化に難しさを感じる近年です。定年延長・高齢就業・世代交代で人手不足となっており、シルバー

の活動内容の広報周知、魅力アップで加入者を増やしたいものです。それには会員自身が楽笑でき、お金にもなるシルバー美咲であること。仕事面で衝突も時にありますが、強い絆で日々精進して参ります。仕事の依頼者からの「ありがとう」を励みに今年も頑張りましょう。

『ドライブインでの板書』

愛燦々

であい ふれあい めぐりあい
はげましあい たすけあい ささえあい
よろこびあい わかちあい しんじあい
かわらぬあいを：
まさに、シルバーですね。

謹 賀 新 年



シルバー人材センター事業 普及啓発月間

毎年10月は「シルバー人材センター事業普及啓発月間」と定め、普及啓発活動を展開しています。

北房コスモスまつり

- 開催日：2023年10月8日(日)
- 主 催：北房コスモスまつり実行委員会

北房コスモスまつりのステージでは、アニソンライブや吹奏楽部のコンサート等で盛り上がっていました。真庭市シルバー人材センターのブースでは、会員さんの手作りの手芸品や竹ぼうきなどを販売しました。会員募集のチラシを配り、シルバー人材センターのPR活動を行いました。



会場でチラシ配り



手作り手芸品販売



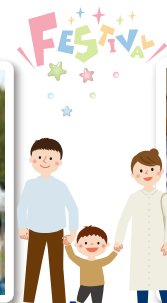
いきいきふれあいフェスティバル

- 開催日：2023年10月15日(日)
- 主 催：いきいきふれあいフェスティバル実行委員会

今年のいきいきふれあいフェスティバルは体育館と中央エントランス広場等で開催されました。多くの模擬店が出店しており、その中の倉敷市シルバー人材センターのテントでは会員さんの手作り手芸品を販売しました。「チエブクローの鮮度保持袋・ティッシュ」を配り、新規会員募集を呼びかました。



会場でチラシ配り

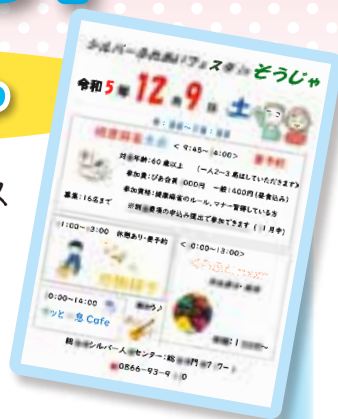


いろいろなイベントを開催中です!

シルバーふれあいフェスタinそうじゃ

12月9日(土)に、総社市シルバー人材センターで、「シルバーふれあいフェスタinそうじゃ」を開催しました。

当日は、天候も良く、朝から続々と来場者があり、無料のポップコーンを片手に、色々なコーナーで体験を楽しむことができました。刃物研ぎコーナーや、本格的なお茶席コーナーを設け、健康麻雀大会では、80代の会員さんも交え、皆さん楽しく卓を囲んで対局されていました。ホッと一息caféでは、「うたごえサロン」のメンバーが昭和の名曲を披露し、おいしいコーヒーとともに、ギターのメロディに合わせて口ずさみ、ゆったりとした時間を過ごすことができました。また、くらふとroomでは、会員さんの手作り作品展示即売会とともに、クラフトテープを使った小物作りが体験でき、子供たちが、おばあちゃんたちと一緒に作品を作りました。孫と遊ぶコーナーでは、魚釣りや、的当てゲームで、子供たちが大きな歓声をあげながら遊び、賑やかな一日となりました。ご近所の方の参加もあり、地域交流、3世代交流が実現した有意義なふれあいフェスタとなりました。





会 員 拡 大 に向けて、

サンロード吉備路【秋の収穫祭と感謝の日】

11月23日(木)に、総社市のサンロード吉備路で開催された「秋の収穫祭と感謝の日」イベントに、総社市・井原市・笠岡市・浅口市の4センターが、出店しました。

当日は、コロナ禍で4年ぶりの開催となり、多くの人で賑わいました。

総社市のシルバー・グリーン（剪定屑の堆肥）の販売や、井原市のふるさと納税の返礼品としても人気の「自家焙煎珈琲房藤枝」のコーヒー、笠岡市のやきいも、浅口市の女性部会の「かぐや」の皆さんの手作り手芸品や、シフォンケーキ、フランクフルトの販売を行いました。



シルボンヌ全国大会2023in福岡



11月29日(水)に、福岡県で開催された「シルボンヌ全国大会2023in福岡」の展示販売ブースで、岡山県代表として浅口市シルバー人材センターが出展しました。

このブースは、全国のシルバー人材センター女性会員が「独自事業」として楽しみながら製作・販売している小物等を展示・紹介、即売するブースで、全国から参加したシルボンヌさん達で、賑わいました。

連合会からは、参加できませんでしたが、インスタライブで、ファッションショーを楽しめ、シルボンヌさん達の演技に魅了されました。

シルボンヌ全国大会の運営委員会委員の方々、福岡県プロジェクトチームの方々、ありがとうございました。全国の光り輝くシルボンヌが、これからも輝き続けることができますように☆☆☆



「第2回安全・適正就業委員会委員、推進員合同会議」

●日時：令和5年12月7日 ●於：ピュアリティまきび

合同会議では、まず安全適正就業について、令和5年度上半期の事故の状況について事務局から説明がありました。傷害事故では、危険個所の点検不足や慣れが事故につながっており、賠償事故では、刈払機による飛石の事故が多く、注意すれば防げる事故でした。

次に、玉野市SC、笠岡市SC、瀬戸内市SC、真庭市SC、和気町SC、矢掛町SCの6SCから安全・適正就業の取組みの発表がありました。無事故のSCの事故撲滅に向けての対策や、各種講習会の講師の選定についてなどの質問がありました。



先進地視察研修

令和5年11月2日～3日に、各シルバー人材センターの職員と連合会職員の14名が、鹿児島市シルバー人材センター、八代市シルバー人材センターを視察しました。視察先の両センターでは、会員拡大の効果的な取り組みや会員の退会抑制、就業開拓の取り組み等についての説明を受けたのち、情報交換や活発な意見交換が行われました。今後、先進地の好事例を参考にして、会員の確保、拡大に向けて様々な取り組みを積極的に進めていく必要があると感じました。



「視察（鹿児島市SC）」



「視察（八代市SC）」



表紙の説明



「源平放水合戦」

提供：公益社団法人 備前市シルバー人材センター


表紙の写真は、昭和25年から毎年2月の第1日曜日に举行される備前市消防団日生方面隊出初式での放水訓練として行われる「源平放水合戦」です。約150名の団員が源平に分かれ、紅白の旗を上げた船上から壮烈な放水の応酬を繰り広げます。最後はお互いを称え合い、七色に染めた水を高くと放水します。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

「一年の計は元旦にあり」ということわざがあります。目標から逆算して考えることで、今やること、次にやるが見えてきます。昨年末エンジェルスからドジャースに移籍した大谷選手は、高校生の時に夢をかなえるために、マンガラチャート（目標達成シート）を作成していました。今年は目標を立てて一年を過ごしてみようと思いました。

今号では、理事長（会長）様にはご多忙の中、原稿をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。



新春号

第71号

会報

連合シルバーおかやま

編集発行

公益社団法人
岡山県シルバー人材センター連合会
住所／岡山市中区西川原251-1
おかやま西川原プラザ別館
TEL／086-201-7250

ホームページ

<http://www.okayama-ksjc.or.jp/>

発行日

2024年1月1日

連合シルバーおかやま ● 会報 16